

外部評価事業シート(概要説明書)

事業名	公園維持管理事業	課室名	環境課	会計区分	一般会計
-----	----------	-----	-----	------	------

【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(具体的な事業(補助)対象者)	
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り		(具体的な法令、条例名等) 都市公園法・泉大津市都市公園条例	
事業の執行方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他		(委託先等) 専門業者・シルバー人材センター・障がい者団体	
(事業背景・目的) 子供から高齢者まで、市民の憩いの場となる公園を安心して安全に利用できるように適正な維持管理を行う。				
(事業の内容) 市内79箇所の公園・緑地の施設や遊具及び運動施設等の安全点検・公園パトロールを職員や嘱託職員、委託業者であるシルバー人材センターで実施し、安全を確保している。また、樹木の植栽、剪定、除草、薬剤散布や清掃等を専門業者やシルバー人材センター並びに障がい者団体に委託している。さらに市民で構成されているボランティア団体が、一部の公園を管理しており、多くの市民が憩いの場として集い、利用者同士の新たなコミュニティが生まれる場所となり、緑と笑顔があふれるような安心して安全な公園として利用できるよう適正な維持管理を行っている。				

【事業費】

項目/年度		H23(決算額)	H24(決算額)	H25(決算見込額)	H26(予算額)	備考	
事業費(千円)	事業費総額 ①	48,290	48,484	57,183	53,832		
	財源内訳(千円)						
	国庫支出金						
	府支出金						
	地方債						
	その他特定財源	6,445	6,253	5,040			
受益者負担	4,874	4,476	4,966	4,987			
一般財源	36,971	37,755	47,177	48,845			
人件費	正職員の年間延べ人数	1.30	0.40	1.70	0.95		
	嘱託・臨時職員の年間延べ人数	0.20	1.70	1.70	1.25		
	正職員年間延べ人数×単価	7,254	2,232	9,486	5,301		
	嘱託・臨時職員年間延べ人数×単価	448	3,808	3,808	2,800		
	人件費合計 ②	7,702	6,040	13,294	8,101		
総事業費(千円) ①+②		55,992	54,524	70,477	61,933		
平成25年度事業費内訳(単位:千円)		費目			金額		
		報酬				2,246	
		旅費				5	
		需用費				11,095	
		役務費				1,275	
		委託料				40,169	
		使用料及び賃借料				935	
		原材料費				95	
		備品購入費				1,072	
		貸付金				200	
		償還金、利子及び割引料				58	
公課費				36			

【事業の必要性】

事業の必要性	市民の憩いの場となる安心安全な公園の維持管理のために必要不可欠な事業である。
--------	--

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	23年度実績値	24年度実績値	25年度実績値	26年度目標値
自主管理公園箇所数	箇所	4	4	4	5
(指標を設定できない理由)					
(具体的な事業の成果)					
公園の適正な管理により、安心して安全な公園を市民に提供することができた。また、公園で清掃や除草などでボランティア団体の成長が見受けられる。					

【外部との連携・活用の可能性】

外部との連携・活用の可能性	連携・活用先、連携・活用部分、不可能な理由を具体的に
<input type="radio"/> 既に事業全体・一部で連携・活用済	ボランティア団体、シルバー人材センター、障がい者団体
<input type="checkbox"/> 今後事業の全部・一部で連携・活用可能	
<input type="checkbox"/> 連携・活用不可能	

【庁内事業との統合、連携の可能性】

類似事業の有無	<input type="checkbox"/> 類似事業あり	類似事務事業名			
	<input checked="" type="radio"/> 類似事業なし		統合・連携の可能性	可能性あり	可能性なし

【これまで実施した事務の見直し点】

これまでの改善点	
----------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	公園施設や遊具の老朽化が顕著であることから、日常点検だけでなく専門業者による点検を実施し、安全管理に万全を期する必要がある。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 魅力ある公園づくりを行うとともに、公園の適正な維持管理のために、日常点検を中心とした安全管理を継続する。 自主管理公園については、広報紙などで活動を紹介するなど、今後も啓発に努め公園数を増やしたいと考えています。
	改革・改善策等の具体的内容	

【参考】

比較参考値 (類団など他自治体での状況)	岸和田市: 指定管理者である公園協会に維持管理を委託、公園協会から各町会(155町会)へ年額3万円を助成し見廻ってもらっている。ただし、大きな公園については公園協会が直に管理している。 高石市: 町会の下部組織に公園愛護の会(30団体)へ年間32千円を助成し、簡単な除草や清掃を実施してもらっている。 和泉市: 指定管理者である公園協会に公園維持管理を委託、公園協会から各自治会(81自治会)へ年額15千円を支払い、全公園約300公園のうち134公園の公園清掃や除草等を行ってもらっている。
-------------------------	---